

▶▶▶小国町

北里柴三郎プロジェクト



涌蓋山と北里柴三郎博士の銅像

分類 観光振興、地域産業振興

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費

73,500千円
寄附目標額 30,000千円

計画期間

2021年4月1日～2025年3月31日

数値目標

- 北里柴三郎博士関連の商品作成件数
..... 20件(2024年)
- 北里柴三郎記念館の入館者数
..... 30,000人/年
- 観光入込客数の増加... 120万人/年
- 新たな観光素材の発掘・商品化
..... 1件/年

小国が誇る世界的細菌学者

2024年に発行される新千円札の肖像画に採用が決定し、破傷風菌の純粋培養の成功、ペスト菌の発見や血清療法の確立など様々な功績を残している北里柴三郎博士は小国町の出身です。この医療法や発見は現代の医学でも様々な場面で活用されています。博士は「学ぶこと」と「人とのつながり」を大切にされ、この学習と交流の精神はSDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」とゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」に通じる理念です。この精神は研修施設「木魂館」の建設につながりました。現在この木魂館は様々な事業を通して、町内外の多くの方々の交流の場、新たな人とのつながりを生み続けている施設です。

この偉業や教えを後世に伝え、そして世界に広げるための情報発信は小国町として重点的に取り組んでいる事業の一つです。博士が私財を投じて地元の子どもたちのために建設した北里文庫や博士の生家がある小国町北里地区には北里柴三郎記念館が開館されており、現在この記念館周辺のコンテンツ充実を図るため、シアタールームの建設などの周辺整備を行い、記念館への来館者数の増加を目指しています。

加えて、新千円札発行の2024年に向けて博士の顕彰事業や、博士に関する商品開発や広報活動も行っていきます。



ここがポイント

北里柴三郎プロジェクトでは、北里柴三郎記念館を起点とした交流人口の増加や、小国町内での学習の機会創出のため、SDGsに関する教育旅行の積極的な受入れを図りたいと考えています。次世代を担う子どもたちのためにもこのプロジェクトを推進します。



北里柴三郎記念館